

2018(平成30)年CLOCMiP®レベルⅢ認証新規申請要件

1 申請対象者（下記要件を全て満たした助産師であること）

- ① 日本国の助産師免許を有し5年以上（5年を終えた）の助産師経験を有する者
- ② CLOCMiP®レベルⅢの総合評価が「B」以上で、認証申請要件をすべて満たし、施設内承認を得た者
施設内承認者は、病院勤務者は看護部長・施設長、診療所・助産所勤務者は院長、教育機関勤務者は上長（教授または教務主任以上）、助産所管理者は都道府県助産師会会長

2 申請要件

		要件		評価方法
		総合評価 ¹⁾	B以上	施設内承認
到達の条件	マタニティケア能力	分娩介助例数（70例以上は経膈分娩）	100例以上	実施例数承認書
		新生児の健康診査	100例以上	
		妊娠期の健康診査	200例以上	
		産褥期の健康診査	200例以上	
		プライマリーケース	20例以上	
		集団指導（小集団指導）		
		母親学級・両親学級 緊急時の対応（BLS、多量出血等）	実践・指導ができる	
必須研修	マタニティケア能力	・新生児蘇生法（NCPR）	Bコース以上	認定証または合格通知書
		・分娩期の胎児心拍数陣痛図（CTG）に関する研修 ・フィジカルアセスメント5領域： 妊娠期・神経・呼吸／循環・代謝・新生児 ・子宮収縮剤の使用と管理 ・助産記録 ・妊娠から授乳期における栄養 ・周産期のメンタルヘルス ・母体感染のリスクと対応	過去5年以内の受講	修了証
		・出血時の対応に関する研修（常位胎盤早期剥離）		修了証
		・周産期の倫理に関する研修 ・助産師および後輩教育等に関連した研修	過去5年以内の受講	
		・学術集会参加	過去5年以内に、助産および母性系の学会に参加 ²⁾	
研修	ステップアップ 自律能力			

1) 「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）活用ガイド」p.63-64参照 (<https://www.nurse.or.jp/nursing/josan/oyakudachi/kanren/sasshi/pdf/guide-kaisetsu.pdf>)

2) 2018年度の申請に認められる学術集会は下記のとおり

日本助産学会、日本母性衛生学会、都道府県母性衛生学会、日本母性看護学会、日本糖尿病・妊娠学会、日本看護学会－ヘルスプロモーション－学術集会、日本助産師学会、日本周産期・新生児医学会、日本新生児看護学会、日本母子看護学会、日本周産期メンタルヘルス学会、日本母乳哺育学会

● 詳しくは日本助産評価機構ウェブサイトへ (<http://josan-hyoka.org/>)